

2016年6月25日

四国アイランドリーグplus

事務局長 坂口裕昭

北米遠征Can-Amリーグ公式戦・第14戦

小林初ホームラン！ 通算成績6勝8敗

カナダ現地時間6月24日(金)19時5分(日本時間6月25日(土)8時5分)より、四国アイランドリーグplus ALL STARS (IL選抜)のCan-Amリーグ公式戦・第14戦が、トロワリヴィエール・エーグルスと行われました。

トロワリヴィエール・エーグルスとの初戦は、序盤から点を取りあう乱打戦となりました。2回表、先頭の小林がHRを放ち先制すると、その後加藤・平間のタイムリツーベース、林のタイムリーヒットで合計4点を先取します。

2回裏、先発の佐藤は2本のソロホームランを浴び、2-4の2点差にされてしまいますが、打撃陣が奮闘し、3回表に松澤、ザックの連続ツーベースで1点を追加して、小林が四球で塁に出たところで、相手の先発投手をマウンドから降ろします。その後も宗雪が四球で満塁にすると、加藤の押し出し死球、垂井のサードゴロの間にそれぞれ1点を追加し、リードを5点に広げます。

味方に援護をもらった佐藤ですが、3本のヒットと、2つの四球で2点を返され、なおも2死満塁の場面でマウンドをフィリップスに譲ります。2番手としてマウンドに上がったフィリップスは三振を奪い、この回のピンチを切り抜けましたが、4回裏に4本のヒットと1四球で3点を返され、なお1塁2塁の場面で間曾にスイッチ。間曾は追加点を与えなかったものの、この回に7-7の同点とさせていただきます。

間曾はその後7回裏まで投げ、3回1/3を無失点に抑えました。

続く8回裏は岸本が3人で抑え、味方の援護を待ちましたが、9回裏から上がった秋山が先頭をヒットで出し、パスボールで2塁へ進めると、センターへサヨナラヒットを打たれ、大事な初戦を落としてしまいました。

通算成績は6勝8敗と、連勝のあとに痛い連敗となりました。

試合結果は以下のとおりです。

【トロワリヴィエール・エーグルス 対 四国アイランドリーグplus ALL STARS】

6月24日(金) スタッド・フェルナンド・ベダール 試合開始19:05 ※日本時間6月25日(土)8:05am 1501人												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
四国アイランドリーグplus ALL STARS	0	4	3	0	0	0	0	0	0	7	10	0
トロワリヴィエール・エーグルス	0	2	2	3	0	0	0	0	1x	8	11	0

勝: Downing 負: 秋山

<継投>

ILplus選抜

投: 佐藤-フィリップス-間曾-岸本-秋山

捕: 垂井

トロワリヴィエール・エーグルス

投: Schonfeld-Neal-Kuzminsky-Downing

捕: Lafrenz

本塁打: 小林(IL)、Brown(TRA)、Mateo(TRA)

三塁打:

二塁打: 加藤(IL)、平間(IL)、松澤(IL)、ザック(IL)、Mateo(TRA)

【中島輝士監督のコメント】

前半の7点を守れなかった。そこだね。そのあと4回からず一と抑えられて、1点も獲れないというのが敗因ですよね。相手もバッティングはいいものを持ってる。負けが込んでるって言っても、ある程度パワーのあるバッターがそろってるんでね。一番から六番までは決して気を抜けない打線なので、本当に反省点もあるし。野手が7点獲って追い着かれると気力がなくなるしね。どこかでもう1点獲れないと、こういうゲームになる。きょうはこっちに来て、一番嫌な負け方というか……。

【小林選手のコメント】(先制の1号ソロ)

狙ってはなかったんですけど、甘いコースに来たのを振れたというか、逃さず振れましたね。(9回裏二死二塁、二ゴロで凡退)最後の打席は甘く見えたんですけど、特有の動くボールで1コずらされました。7点獲って、ピッチャーが良くないときこそ野手が1点を獲りに行きたかった。切れてたわけじゃないですけど、そのまま終わってしまったので。自分を含めチームとして、もっと何か策はなかったのかなと思います。

【佐藤選手のコメント】

投球練習からちょっときょうは「引っ掛け」が多くて。それをうまく修正できなかった。引っ掛けないようにと思って投げたら、甘く入ってしまって。打たれたのは高かったです。悪いときは誰でもあることなので、それをどう修正していくか。その引き出しが僕にはまだ少ないので。ちょっとずつ「悪いときにどうするか」を見つけて行きながら。ちゃんとピッチングできれば大丈夫だと思うので。しっかり修正できるようにしていきたいですね。

【間曾選手のコメント】(4回裏途中からリリーフして好投)

この北米遠征で、いろんなピッチャーを見て。相手というよりも味方のピッチャーを近くで見られて。いろんなタイプ、いろんな投げ方のピッチャーがいるので、いい刺激を受けていろいろ試せている。試せた部分がきょうは、いいほうに出たかなと思います。きのう、キャッチボールでいい感じだったので。体のキレを出したいなと思っていて、それが前回よりは出せたかなと思います。きょうはバッターが7点獲ってくれて、ピッチャーが粘れなかったっていうのもありますけど。そこは持ちつ持たれつなので。バッターが打つときもあれば、ピッチャーが抑えるときもありますし、どっちがいい悪いじゃなくて、しっかり打ってくれたときはしっかり抑える。なかなか打ってもらえないときはしっかり粘る。ピッチャーとしてはそういうふう感じながらやってくるのが大事ななって思います。

なお、試合の状況は、随時、四国アイランドリーグplus公式Twitterで、動画、写真をまじえながら配信中です。

https://twitter.com/Shikoku_IL_plus

詳しい試合レポートは下記をご覧ください。

北米遠征レポート：<http://bb-nippon.com/ib/column/1558-2016report>

試合終了数日後にはなりますが、ダイジェスト動画も配信しております。

https://www.youtube.com/channel/UCw5h_EQv-ubTxbsb3CDFnrA

以上

四国アイランドリーグplus運営事務局 株式会社IBLJ <http://www.iblj.co.jp>

〒761-8013 香川県高松市香西東町267-1

TEL 087-802-1580 FAX 087-802-1581 担当:加藤